

2015-04

学会通信

平成 27 年 4 月 10 日

NO.80

工業経営研究学会

Association for the Study of  
Industrial Management (Japan)

## 第 30 回全国大会のご案内

第 30 回全国大会実行委員会委員長  
富野貴弘(明治大学)

2015 年度の工業経営研究学会全国大会を、8 月 27 日(木)から 29 日(土)までの 3 日間、明治大学駿河台キャンパスにて開催いたします。

現在、長きにわたった日本経済の不況の暗闇の中にも、ようやく少しずつではありますが光が射しこみ始めているように見えます。そのような中、今後の日本のものづくりはどのような革新と進化を遂げていくべきなのでしょう。あるいは、俗に「失われた 20 年」と言われた時代の中で、日本のものづくりはどのような変化を遂げてきたのでしょうか。実際に何が失われ、逆に何が生まれたのでしょうか。そうした問題について我々研究者は、今こそ冷徹かつ地に足の着いた議論をしなければならないと考え、今大会の統一論題テーマは「ものづくり革新と工業経営研究の課題」といたしました。会員の皆様の活発な議論が交わされることを期待しております。

東京都心という土地柄、大会期間中は残暑厳しい気候が予想されますが、実行委員会一同、万全の体制で皆様をお迎えする所存でございます。本大会は、第 30 回という節目の大会でもあり、記念シンポジウムも予定しています。ぜひとも、数多くの会員の皆様において頂けるようお願い申し上げます。

### ■統一論題テーマ

「ものづくり革新と工業経営研究の課題」

### ■大会日程

2015 年 8 月 27 日(木)～29 日(土)

8 月 27 日(木) 工場見学会、理事会

8 月 28 日(金) 記念シンポジウム、自由論題、分科会、理事会、会員総会、懇親会

8 月 29 日(土) 統一論題、自由論題、理事会

### ■大会会場

明治大学駿河台キャンパス リバティタワー(東京都千代田区神田駿河台 1-1)

・JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩3分

・東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩5分

・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩5分

## 第 30 回全国大会 自由論題報告者募集

自由論題の報告者を募集します。

(1) 報告者応募の締め切り：5月31日(日)

応募者多数の場合は大会実行委員会で選考させていただきますのでご了承ください。

選考結果は、応募締め切り後2週間程度でお知らせいたします。

<応募内容・方法>

①報告タイトル

②報告者氏名・所属・会員資格

(共同報告の場合は報告者すべての氏名・所属・会員資格を明記のこと。なお、発表条件など詳細については学会ホームページでご確認ください)

③報告要旨(400字程度、キーワード5つ、書式は自由)

\*原則、電子メールにて送付願います。

(2) 大会予稿集原稿の締め切り：7月15日(水) 必着

(3) 報告者には、報告依頼文とともに原稿執筆要領を6月上旬にお送りします。

応募先：明治大学商学部 富野研究室

kkkg2015@yahoo.co.jp

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学駿河台研究棟 1114 号室

## 学会誌投稿論文募集のお知らせ

(学会誌 第30巻 第1号)

学会誌編集委員長

那須野 公人

今年度より、学会誌を年2回発行することになりました。そこで、第30巻 第1号(2016年3月発行予定)への投稿論文を募集します。募集期間と原稿送付先は、次の通りです。

■募集期間

2015年7月～10月末日まで【必着・厳守】

論文審査は、募集締め切り後にまとめて実施します。

■連絡先および原稿送付先

〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町 908 番地

作新学院大学 経営学部 那須野公人 宛

メールアドレス:knasuno@sakushin-u.ac.jp

\* なお、年 2 回発行の他、主な改正点は次の通りです。

- ・招待論文を除き、論文はすべて査読付となります。
- ・ホームページ掲載のテンプレートにしたがってご執筆いただきます。そのため、校正は行いません。
- ・キーワードを 5 ワードまで入れていただきます。

\* テンプレートの他、改正された投稿規定、執筆細則、投稿申請書を、ホームページに掲載していますので、熟読のうえご投稿下さい。

## 第 10 期第 2 回理事会報告

日時：2015 年 3 月 23 日（月）16:30～20:00

場所：明治大学駿河台キャンパス

### 【報告事項】

1. 会員異動について  
藤原理事から 2014 年 9 月以降の会員異動（新規入会者 1 名、退会者 9 名）について報告がなされた
2. 第 30 回記念全国大会について  
風間会長より明治大学で 8 月 27 日から 29 日に開催される第 30 回記念全国大会についてプログラムの説明があり、富野大会実行委員長からその準備状況の報告があった。
3. 学協会サポートセンターへの事務委託の更新について  
藤原理事より、会長が風間会長になったことを受け、風間会長名での事務委託契約等の更新を行ったことが報告された。
4. その他  
藤原理事より経営関連学会協議会の評議員会の報告がなされた。本学会との関連では、新理事長に風間会長が、副理事長に百田理事が選出されたことや、英文オンラインジャーナルの発行へ向けて、査読者と編集委員の選出で学会会員の協力を仰ぎたい点の報告があった。

### 【審議事項】

1. 学会誌関連諸規定等の制定及び改訂について  
秋野理事より、学会誌年 2 回発行体制による学会誌関連諸規定等（『工業経営研究』投稿規定、学会誌編集委員会規定、論文審査運営委員会規定、『工業経営研究』執筆細則、投稿申請書、論文テンプレート）の制定・改訂について説明がなされ、審議の結果、原案通り了承された。なお旧規定については 2015 年 8 月 31 日をもって廃止することが了承された。  
（条文等は紙幅の関係上、掲載できませんが、学会HPに掲載していますので、そちらをご参照下さい。）
2. 2013 年度会計貸借対照表および 2014 年度会計予算書の修正について  
藤原理事より、2013 年度会計貸借対照表の貸方に未払金 250,000 円を追加し、それにより当期繰越金が 2,374,043 円に修正、またそれに伴い 2014 年度会計予算書の前期繰越金を 2,374,043 円、次期繰越金を 2,275,243 円とする提案について説明がなされ、審議の結果了承された。

3. 2014 年度会計の執行状況について  
藤原理事より、2014 年度の会計の執行状況の説明があり、了承された。
4. シニア会員制度の導入について  
風間会長から、将来的な会員数の維持、学会の活性化のため、会費を減額したシニア会員制度の導入について提案がなされた。シニア会員制度の主な条件・特徴は、10 年以上本学会の会員であること、65 歳以上であること、大学その他の機関に常勤として所属していないこと、会費は 5000 円とし正会員の権利を有することなどである。審議の結果、これを了承した。
5. 会員の入会について  
2 名の会員の入会について審議を行い、入会が了承された。
6. 環境経営学研究分科会の設立と学会内規の改訂について  
風間会長から、既存の環境研究分科会と循環型社会研究分科会を統合した環境経営学研究分科会を設立したいという鈴木幸毅会員からの申し出について、8 月の会員総会での了承を得るまでは環境経営学研究分科会（環境研究分科会・循環型社会研究分科会統合分科会）という表記で活動することを認めたい旨の提案があり、審議の結果これを了承した。さらに、学会活動の活性化のために、分科会の新設・統合・再編を機動的に行えるよう、本事項は内規で理事会承認事項（総会では報告事項）としたいとの提案がなされ、審議の結果了承された。
7. 30 周年記念出版事業について  
風間会長から、以下の説明・提案がなされた。30 周年記念出版事業として一冊の記念出版を行う、テーマは「モノづくりの革新と工業経営研究の課題 - 日本の再生 - 」とする、来年の全国大会（第 31 回大会）前に発行する、記念出版事業委員会において構想を練り、今年 8 月の理事会においてそれを承認する。以上について審議を行い、了承された。
8. 研究奨励賞の対象作品推薦拡大について  
研究奨励賞など会員表彰の候補作品の推薦をお願いしたい旨の要請がなされた。
9. 前期理事会からの申し送り事項の扱いについて  
前期理事会からの引き継ぎ事項として、①学会誌年 2 回体制の具体化、②30 周年記念出版事業の具体化、③会員表彰制度のうちの「若手会員」の共同研究による「共著」の扱い、④役員選挙制度の見直し、⑤会員数の拡大、⑥名誉会員の規定作成、および林前副会長からの引き継ぎ事項として、①役員選挙制度の改革、②会員表彰制度と会員表彰選考委員会の課題、③副会長職の業務分担、について改めて理事会において確認を行った。
10. その他  
地代監事から、部会の活性化のために、毎年 9 月に部会員の最新名簿を部会長に提供してほしい旨の要請があった。

## 会員異動の報告（2014. 9～2015. 3）

### 【入会者】

「正会員」 萩原貞幸（株式会社 ファンドファンクション）

「院生会員」 鈴木智気（同志社大学大学院）、張 博（愛知工業大学大学院）

### 【退会者】（本年度末での退会希望者を含む）

「正会員」 阿辻茂夫（関西大学総合情報学部）、濱野 隆（作新学院大学大学院経営学研究科）、

鹿島 啓 (大阪成蹊大学マネジメント学部)、春山丈夫 (春山技術士事務所)、  
酒井幸雄 (帝人株式会社人財部)、森 正紀 (福岡大学商学部)

## 「学会賞・研究奨励賞・若手研究者賞」候補作品の募集

本学会「内規」第14条により、2015年度の学会賞(年齢制限なし)・研究奨励賞(31歳以上40歳未満)・若手研究者賞(30歳以下が対象)の候補作品の推薦を4月末までに、中瀬哲史副会長(会員表彰選考審査委員会委員長)または学会事務局宛にお知らせください。自薦・他薦を問いません。なお、会員表彰推薦書の様式は学会ホームページに掲載されているものをダウンロードしてご利用ください。

## 経営関連学会協議会からのお知らせ

経営関連学会協議会では、英文オンラインジャーナルの発行に向けて、査読者の選定のために各構成学会会員に対してリサーチマップへの登録・更新をお願いしています。リサーチマップの情報に基づき、協議会で査読者を選定し査読を依頼します。またオンラインジャーナルの編集委員および査読委員を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、本学会評議員(風間会長、藤原理事)までお申し出下さい。

## 2015年度会費の納入のお願い

本学会の会計年度は、会則第17条(会計年度)で「7月1日に始まり、6月30日に終了する」と定められており、2013年度より4月頃から次年度分を前納していただく形をとることで、資金運用の安定化と会計処理の迅速化をはかってきました。

つきましては、2015年度(2015年7月から2016年6月まで)の会費の振込用紙を同封しますので、前年度と同様に前納していただきますよう、ご協力をお願いします。

工業経営研究学会 学会通信 80号 (15-04) 2015.04.10

発行人 風間 信隆 編集担当 鈴木 美代子

学会事務局 駒澤大学経営学部 藤原篤志研究室内

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel: 03-3418-9225

E-Mail: fujiwara@komazawa-u.ac.jp、HP: <http://asimj.jp/>

会員事務(会費納入、住所管理、学会通信・学会誌の郵送など)担当

(有)学協会サポートセンター

〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502

Tel: 045-671-1525、E-Mail: [scs@gakkyokai.jp](mailto:scs@gakkyokai.jp)